Grandstream

User's Guide

操作マニュアル

Grandstream　GXV3140
Grandstream　GXV3175

1.2版

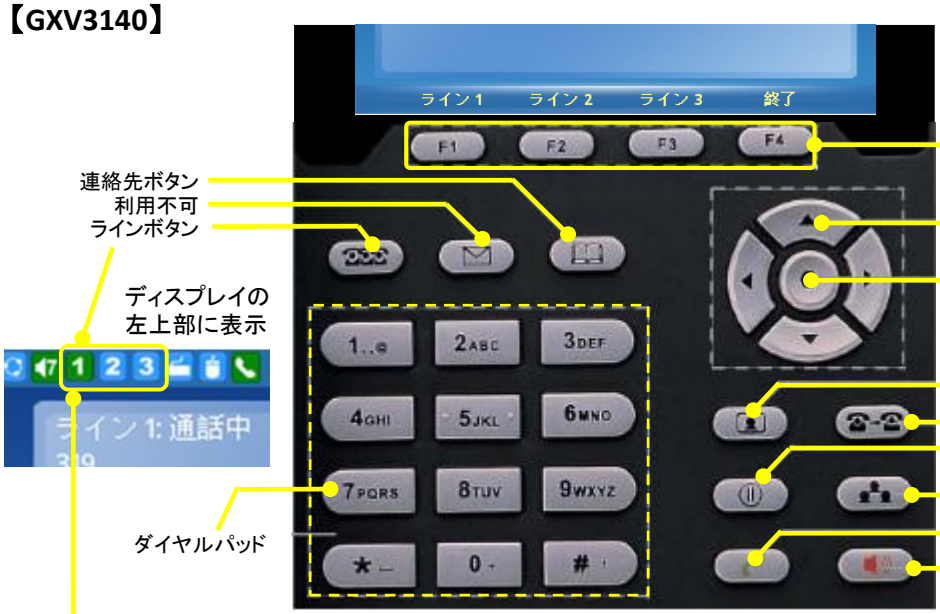
ユーザマニュアル2013/7/26

株式会社オフィス２４

- 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- 本製品の使用または使用不能に付随、関連して生ずる、直接的または間接的損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失・金銭的な損害など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『Grandstream 、IP Multimedia Phone』は 米国Grandstream Networks, Inc.の商品名称または登録商標です。また、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

ボタンの説明

【GXV3140】



- ファンクションボタン
  ※ボタン上部の画面に表示された機能を利用します。
- 連絡先ボタン
- 利用不可
- ラインボタン
- メニュー操作ボタン
- メニューOKボタン
- ディスプレイの左上部に表示
- カメラ画面切替ボタン
- 転送ボタン
- 自己保留ボタン
- ダイヤルパッド
- 三者通話ボタン
- 発信ボタン
- スピーカボタン

待機中	:青点灯
保留中	:橙点灯+保留マーク表示
通話中/発信中	:緑点灯
着信中	:緑点滅

【GXV3175】

待機中	:緑点灯
保留中	:黄色点灯
通話中/発着信信中	:赤点灯

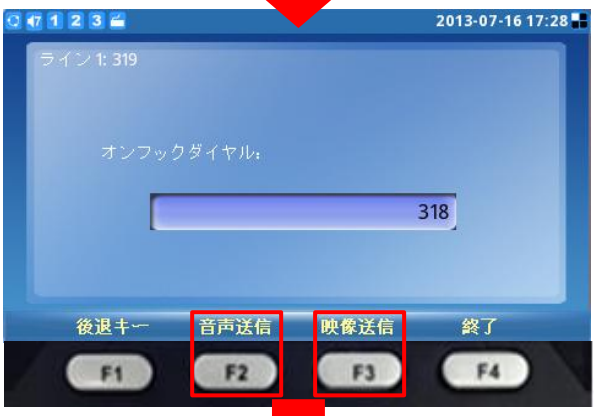
- ラインボタン
- ダイヤルパッド
- この画面を閉じる
- 保留ﾎﾞﾀﾝ
- 転送ﾎﾞﾀﾝ
- 利用不可
- 利用不可
- 連絡先・通話履歴表示ボタン
- 音声出力先変更ボタン
- 音量調整 ミュートﾎﾞﾀﾝ
- ミュートﾎﾞﾀﾝ
- 受話音量を下げる
- 受話音量を上げる
- 音声/ビデオ通話/リダイヤルボタン
- ワンタッチ機能ボタン
- 通話ﾓｰﾄﾞ切替ﾎﾞﾀﾝ
- 三者通話ﾎﾞﾀﾝ

GXV3140

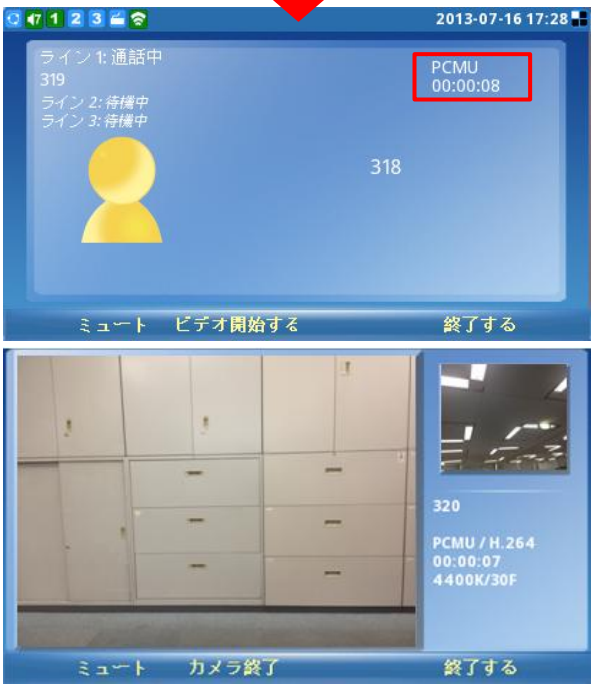
電話をかける

内線、外線の番号をダイヤルして電話をかけます。

(1) 受話機をオフフックせずに発信先の電話番号を入力します。



(2) 発信方法を選択しオフフックします。
・音声通話の場合は「音声送信」を選択
・映像通話の場合は「映像送信」を選択

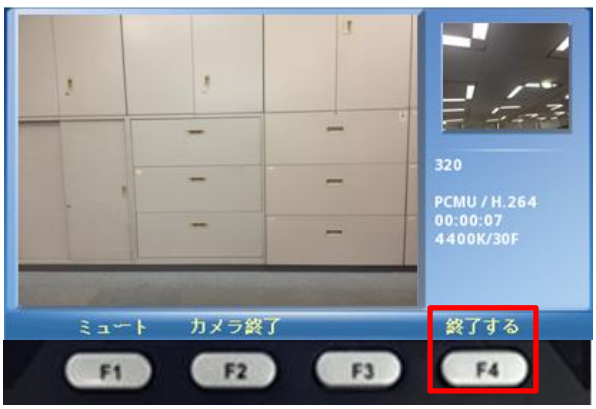


(3) 発信先が応答すると、音声通話の場合は通話時間が表示され、映像通話の場合は映像が表示されます。

GXV3140

着信に応答する、切断する

着信した電話に応答し通話を切断します。



(1)着信した電話の応答方法を選択しオフフックします。

・「音声受信」を選択すると発信側が「映像送信」発信していても音声通話で電話を受けます。

・「受ける」を選択すると発信側が「映像送信」発信している場合に限り、映像通話を開始します。

・「拒否する」を選択すると着信を拒否します。

※「受ける」「音声受信」ボタンを押すと通話が開始されますので、すぐにオフフックして下さい。

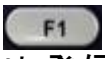
(2)通話を切断する場合は、「終了する」を押すか受話機をオンフックします 。

GXV3140

電話帳から発信する

電話帳から発信先を選択し発信します。

(1) 電話帳ボタン を押して電話帳を開きます。

(2) 発信する連絡先にカーソルを合わせて「call」  を押し、登録番号の一覧を表示させ 発信する番号を選択します。

(3)発信方法が表示されますので選択します。

・Audio Call⇒音声送信

・Video Call⇒映像送信

GXV3140

通話履歴から発信する

通話履歴から発信先を選択し発信します。

(1)「メニュー」ボタン F1 を押してメニュー画面を開きます。

(2) メニューから「通話履歴」を選択します。

(3)発信先にカーソルを合わせて「call」 F1 を押すと発信方法が表示されますので選択します。

・Audio Call⇒音声送信

・Video Call⇒映像送信

GXV3140

通話を保留する

通話を保留して相手に保留音を流します。

(1)通話中に保留ボタン を押します。

⇒通話相手には保留音が流れます。

(2)通話を再開する場合は、 (再開)を押します。

GXV3140

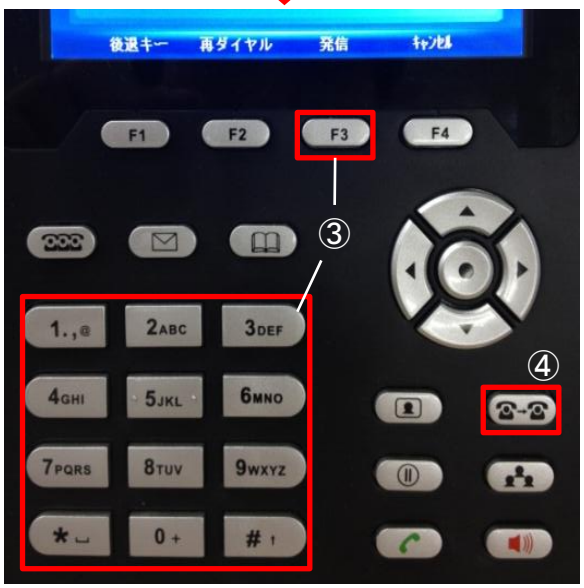
通話を保留転送する

通話を一旦保留して、別の電話機へ転送します。

(1)通話中にラインボタン を押します。

※ライン選択ボタンを押すと保留状態になり、通話相手に保留音が流れます。

(2)利用していないライン選択ボタンを押すと、ダイヤル画面が表示されます。



(3)転送先の番号を入力し発信ボタン F3 を押します。

※転送先と電話がつながります。電話を転送することを伝えてください。

(4)転送先と通話後に転送ボタン を押してください。

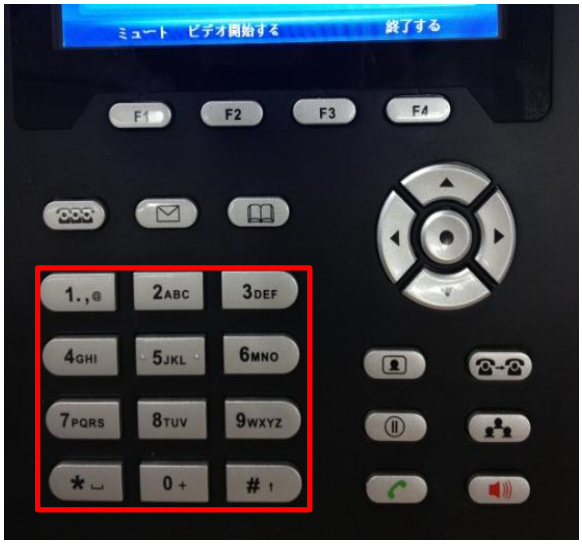
※転送ボタンを押すと転送先(ライン2or3)も保留になります。
※ライン1は保留されたままです。

(5)ラインボタン を押し、はい F1 を選択すると通話が転送されます。

GXV3140

パーク保留する

他の電話機と共有するボタンに通話保留します。

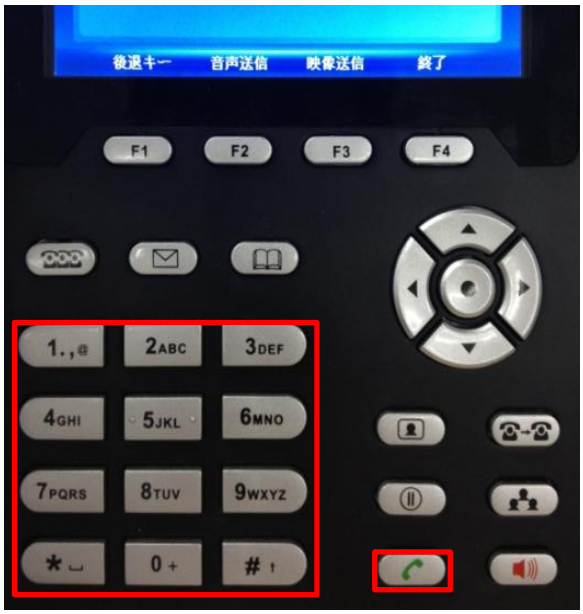


(1)通話中に『パーク特番+番号』を入力します。
パーク保留されるまで約4秒かかります。

※相手にプッシュ音が鳴ります。

[パーク特番の初期値は6です。]

例）
１番のパークボタンへ保留する場合は、
６１とダイヤルします。



(2)パーク保留を取る場合は、保留されている『パーク特番+番号』を入力し、
発信ボタンを押すとピックアップできます。

[パーク特番の初期値は6です。]

例）
２番のパーク保留をピックアップする
場合は、６２とダイヤルします。

GXV3140

3者通話をする

1通話で3者同時に通話します。

(1)通話中にラインボタン を押します。

※ライン選択ボタンを押すと保留状態になり、通話相手に保留音が流れます。

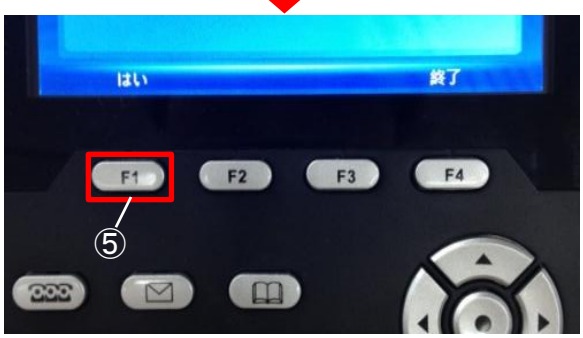
(2)利用していないライン選択ボタンを押すと、ダイヤル画面が表示されます。

(3)転送先の番号を入力し発信ボタン F3 を押します。

※転送先と電話がつながります。3者通話することを伝えてください。

(4)転送先と通話後に3者通話ボタン を押してください。

※3者通話ボタンを押すと転送先(ライン2 or3)は無音になります。
※ライン1は保留されたままです。



(5)はい F1 を選択すると3者通話が開始されます。

GXV3140

呼出・通話音量を調整する

着信時の鳴動音・通話時の受話音量を変更します。

(1) トップ画面で電話機の上下キー を押すと着信音量が変更されます。

※音量調整中は着信音量のサンプルが鳴ります。

(2) 通話中に電話機の上下キー を押すと受話音量が変更されます。

GXV3175

電話をかける

内線、外線の番号をダイヤルして電話を掛けます。

(1)受話機をオフフックするとダイヤル画面が表示されます 。

(2)発信先の電話番号を入力し、発信方法を選択します。
・音声通話の場合は「音声通話」を選択
・映像通話の場合は「ビデオ通話」を選択

(3)発信先が応答すると、音声通話の場合は通話時間が表示され、映像通話の場合は映像が表示されます。

GXV3175

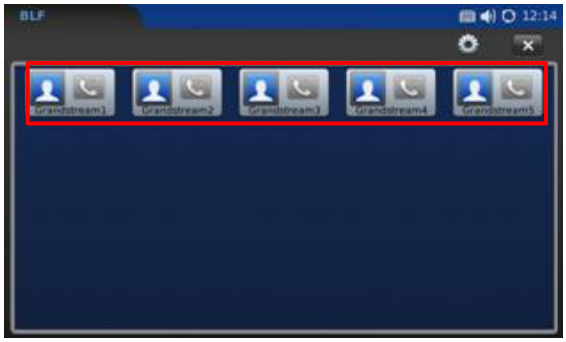
BLF機能を利用して電話をかける

BLF(ワンタッチ)機能を利用して電話を掛けます。

(1)受話機をオフフックするとダイヤル画面が表示されます 。

(2)画面右中央の「BLF」ボタン

を押してリストを表示します。



(3)発信先を選択すると電話が発信されます。

※BLF機能を利用しての発信はビデオ通話発信になります。

GXV3175

着信に応答する、切断する

着信した電話に応答し通話を切断します。

(1)着信した電話の応答方法を選択しオフフックします。

・「音声受信」を選択すると発信側が「ビデオ通話」発信していても音声通話で電話を受けます。

・「ビデオ受信」を選択すると発信側が「ビデオ通話」発信している場合に限り、映像通話を開始します。

・「拒否する」を選択すると着信を拒否します。

※「音声受信」「ビデオ受信」ボタンを押すと通話が開始されますので、すぐにオフフックして下さい。

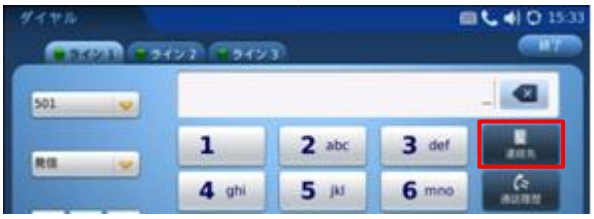
(2)通話を切断する場合は、「終了」を押すか受話機をオンフックします 。

GXV3175

電話帳から発信する

電話帳から発信先を選択し発信します。

(1) トップ画面右下の電話アイコン を押します。



(2) ダイヤル画面右上の「連絡先」 を押します。

(3) 発信する連絡先を押すと電話マークのアイコン が表示され、アイコンを押すと発信されます。

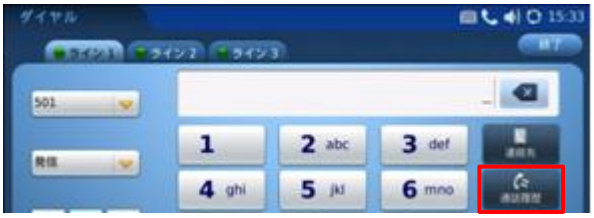
(4)番号を複数個登録している場合は、再度連絡先を押すと番号一覧が表示されますので、発信する番号の右側のアイコン を押して発信して下さい。

GXV3175

通話履歴から発信する

通話履歴から発信先を選択し発信します。

(1) トップ画面右下の電話アイコン を押します。



(2) ダイヤル画面右中央の「通話履歴」 を押します。

(3) 発信する通話履歴を押すと電話マークのアイコン が表示され、アイコンを 押すと発信されます。

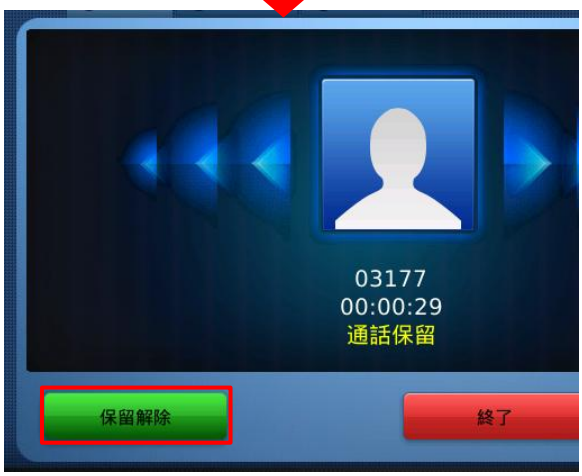
GXV3175

通話を保留する

通話を保留して相手に保留音を流します。

(1)画面右上の を押します。

(2)保留ボタン を押すと自己保留します。



(3)通話再開する場合は、左下の保留解除ボタン

を押します。

GXV3175

通話を保留転送する

通話を一旦保留して、別の電話機へ転送します。

(1)通話画面左上のラインボタン(緑のランプ)を選択します。

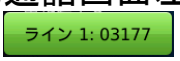
※ライン選択ボタンを押すと保留状態になり、通話相手に保留音が流れます。

(2)転送する番号をダイアル、発信ボタンを押します。

※転送先と電話がつながります。電話を転送することを伝えてください。

(3)転送先と通話後に画面右上の を選択し、転送ボタン を押します。

※転送ボタンを押すと転送先(ライン2or3)も保留になります。
※ライン1は保留されたままです。

(4)通話画面左側に表示されるラインボタン  を選択すると通話が転送されます。

GXV3175

パーク保留する

他の電話機と共有するボタンに通話保留します。

(1)通話中に『パーク特番+番号』を入力します。
パーク保留されるまで約4秒かかります。

※相手にプッシュ音が鳴ります。

[パーク特番の初期値は6です。]

例）
１番のパークボタンへ保留する場合は、
６１とダイヤルします。

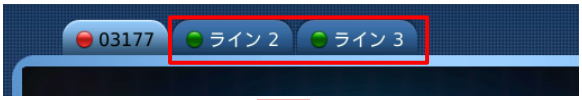
(2)パーク保留を取る場合は、保留されている『パーク特番+番号』を入力し、
発信ボタンを押すとピックアップできます。

[パーク特番の初期値は6です。]

例）
２番のパーク保留をピックアップする
場合は、６２とダイヤルします。

3者通話をする

1通話で3者同時に通話します。



(1)通話画面左上のラインボタン(緑のランプ)を選択します。

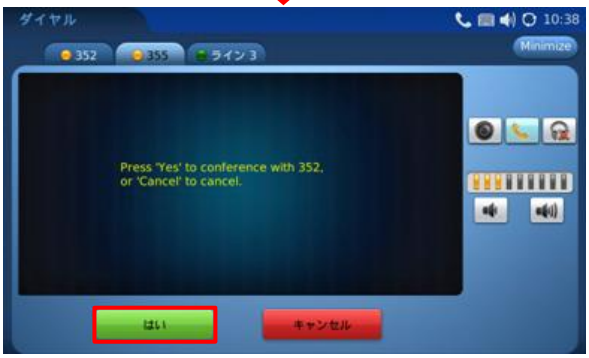
※ライン選択ボタンを押すと保留状態になり、通話相手に保留音が流れます。

(2)転送する番号をダイアル、発信ボタンを押します。

※転送先と電話がつながります。電話を転送することを伝えてください。

(3)転送先と通話後に画面右上の を選択し、3者通話ボタン を押します。

※3者通話ボタンを押すと転送先(ライン2 or3)が無音になります。
※ライン1は保留されたままです。



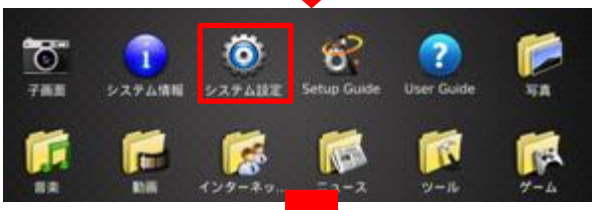
(4)通話画面左下に表示される「はい」ボタン を選択すると3者通話が開始されます。

GXV3175

呼出・通話音量を変更する

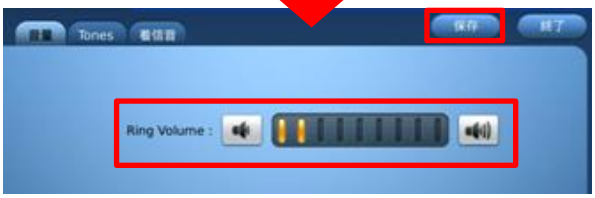
着信時の鳴動音・通話時の受話音量を変更します。

(1)トップ画面右下の「メニュー」ボタンを押します。



(2)「システム設定」を選択します。

(3)「アラーム音」を選択します。



(4)「Ring Volume」の音量を調整し保存を押します。

※音量調整中は着信音量のサンプルが鳴ります。

(5)通話中に画面右上の » を押すと音量調整ボタンが表示され、調整すると受話音量が変更されます。

電話機能に関する注意事項

■注意事項

◆電話機からの日本語入力ができません。
電話帳はMOT/PBX M-V1、MOT/PROのユーザー画面から日本語登録/編集が可能です。

◆内部アプリを利用している最中に着信すると、着信音が鳴らないなどの問題がありますのでご利用しないで下さい。

◆マルチラインとの混在構成の場合、ラインキー保留ができないため保留転送をご利用して下さい。

◆Grandstream端末からパーク保留をする場合、通話相手にプッシュ音が鳴ります。

◆非通知着信した場合、「非通知」ではなく「Anonymous」と表示されます。

◆電話番号入力時、数字の後に＊や＃を入力する事ができませんので、ポーズダイヤル等の機能がご利用頂けません。

◆GXV3175のBLF(ワンタッチ)機能を利用した発信はビデオ通話発信となります。
発信先がビデオ通話に対応していない場合でも発信できます。その場合、発信先が応答後音声通話になります。

◆GXV3175は発信呼出中のダイヤル操作(非課金のダイヤルサービス)はご利用できません。GXV3175以外の端末から操作を行って下さい。

ご注意事項

■本書におけるGrandstream端末について

◆本書に記載しているGrandstream社製 GXV3140、GXV3175は 米国Grandstream Networks, Inc.より
提供されている製品を弊社のMOT/PBX配下の内線電話機で利用する場合の操作説明書となります。
メーカから提供されているご利用方法、機能とは一部差分がございますのでご注意ください。

◆また、当社が推奨している以外の操作につきましては当社といたしましては動作保障対象外となりますので
ご注意ください。

■ご利用においてのご注意事項

◆当社として、MOT/PBX M-V1、MOT/PRO以外との接続で生じた問題は補償の対象外、且サポートいたしませんの
でご注意ください。

◆本ソフトは弊社が接続確認を実施した構成以外場合の動作は保障いたしませんのでご注意ください。

◆弊社が提供しているご利用方法を用いた以外の動作、仕様、装置本体に起因する問題へのサポートは、
当社で対応出来ない場合がございますのでご注意ください。

◆弊社が指定しているマニュアルに記載されているご利用方法以外の使用方法によって生じた問題は弊社としまし
ては品質保証対象外になります。

◆弊社が提供した経路以外で入手されたGrandstream端末を利用した場合の動作保証、本書に記載されている内容
にはお答することが出来ない場合がございます。

■本書について

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、
お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。
本書は紛失しないように、大切に保管してください。

◆本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。

◆本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。

◆本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の
変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

◆取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◆接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◆本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です